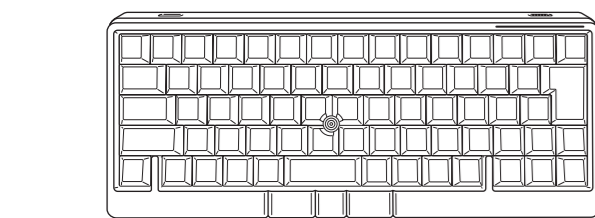


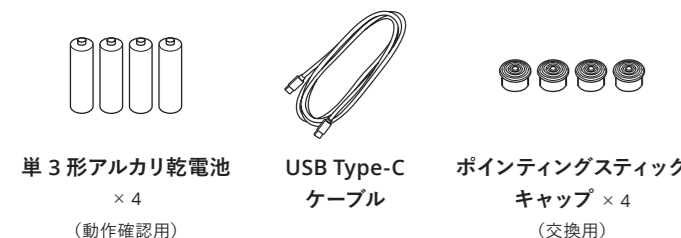
はじめに

このたびは、Happy Hacking Keyboard Studio（日本語配列）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。キーボードを使用する前に「安全上のご注意」（別紙）を必ずお読みになり、理解されたうえでキーボードをお使いください。

以下の梱包品がすべてそろっていることを確認してください。



キーボード本体



単3形アルカリ乾電池 × 4
(動作確認用)

USB Type-C ケーブル

ポインティングスティックキャップ × 4
(交換用)



スタートガイド
(本書)

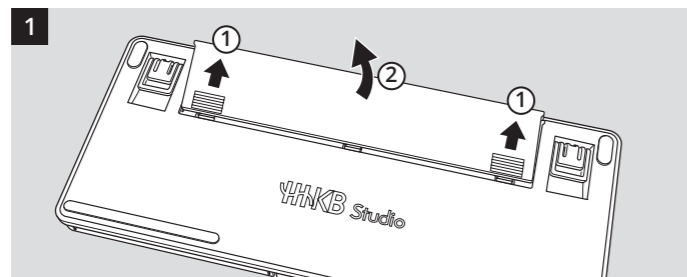
LED表示・キー設定一覧

安全上のご注意
(保証書付)

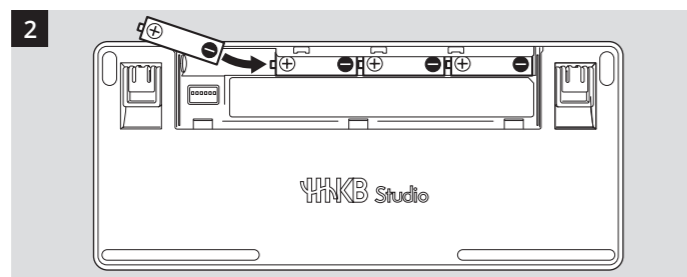
万一、足りないものや不良品がありましたら、本製品を購入された販売代理店、販売店または「株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター」まで連絡してください（→「安全上のご注意」（別紙）の「故障・修理お問い合わせ」を参照）。

Bluetooth（無線）接続で使用する

1 準備する

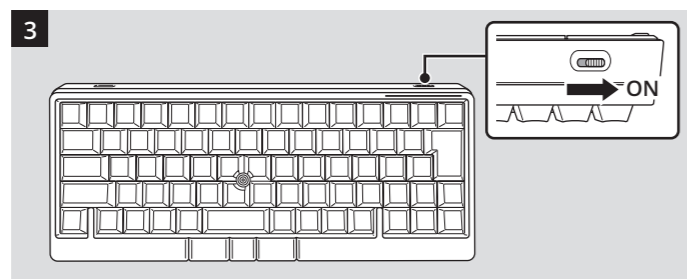


キーボード底面のカバーを①の方向にスライドさせ、②の方向に持ち上げて取り外す



単3形電池4本をマイナス側から入れ、カバーを元通りに取り付けるカバーをしっかりと閉めてください。

! 電池4本のプラス \oplus とマイナス \ominus の向きを確認して、正しく入れてください。



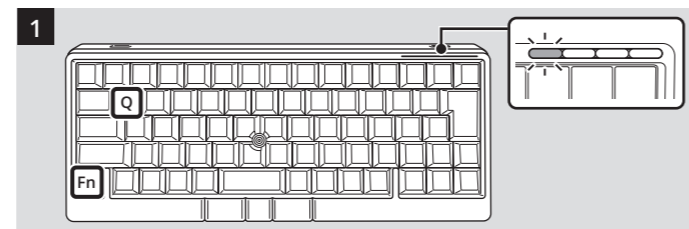
キーボード背面の電源スイッチを外側にスライドして緑色が見える状態にし、電源をONにする

本文中のキー操作の表記について

複数のキーを同時に押す場合には、「+」でつなげて記載しています。キーは左から順に押してください。

例えば、Fn + Q の場合は、Fn を押しながら Q を押します。

2 初回接続（ペアリング）する



Fn + Q を押し、最も左のLEDインジケータが青色に速く点滅するまで待つ（ペアリングモード）

ペアリングモードを解除したい場合は、Fn + X を押してください。

2 キーボードを接続する機器のBluetooth設定を有効にし、表示された接続名の「HHKB-Studio1」を選択する

OSごとの詳細手順はこちら
https://happyhackingkb.com/manual/studio/ug-jis/jp/ug/topic/connect_bluetooth.html



画面に表示されたペアリング用の数字を本製品で入力する

「HHKB-Studio1」が接続済みとなり、接続が完了します。このとき、LEDインジケータは消灯します。

! macOSで「キーボード設定アシスタント」画面が表示された場合は、「続ける」ボタンをクリックして、表示される画面の指示に従って操作してください。

・「右 Shift キーの左隣のキーを押してください」というメッセージが表示されたら、↑ではなく、右 Shift の2つ左隣にある ↵ を押してください。

・「キーボードの種類を選択」が表示されたら、「JIS 日本語」を選択してください。

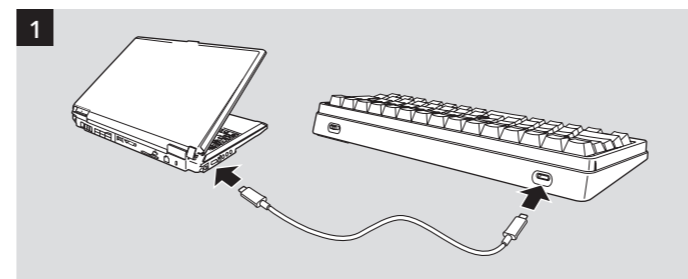
以上で接続は完了です。

2回目以降は、本製品の電源をONにするだけで自動的に再接続されます。

Bluetooth機器を追加登録（ペアリング）する場合は、裏面「キーボードの主な設定変更」の「複数の接続機器を切り替えて使いたい」を参照してください。

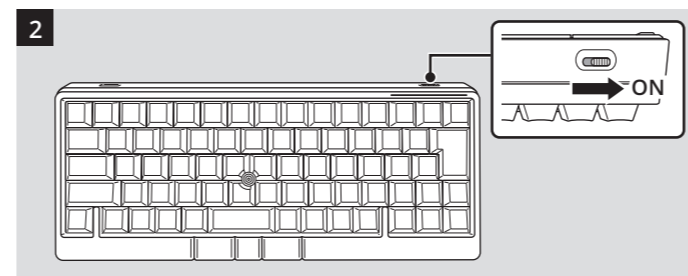
USB（有線）接続で使用する

本製品と機器をUSB Type-Cケーブルで接続すると、有線でも使用できます。



添付のUSB Type-Cケーブルで本製品と機器を接続する

! 電池は消費されません（自然放電を除く）。長期間電池を使用しない場合は、電池を取り除いてください。



キーボード背面の電源スイッチを外側にスライドして緑色が見える状態にし、電源をONにする

接続中はLEDインジケータ全体が青色で点灯し、接続が完了すると消灯します。

! macOSで「キーボード設定アシスタント」画面が表示された場合は、「続ける」ボタンをクリックして、表示される画面の指示に従って操作してください。

・「右 Shift キーの左隣のキーを押してください」というメッセージが表示されたら、↑ではなく、右 Shift の2つ左隣にある ↵ を押してください。

・「キーボードの種類を選択」が表示されたら、「JIS 日本語」を選択してください。

以上で接続は完了です。

USB接続でキーが入力できないときは

すでにBluetoothで接続している場合、または前回Bluetoothで接続していた場合は、USBケーブルを接続するだけではUSB接続に切り替わりません。USB接続に切り替えるには、USBケーブルを接続して Fn + Control + 0 を押してください。

使い始める

機器との接続が完了すると、すぐにキーボードを使い始められます。

キーを入力する

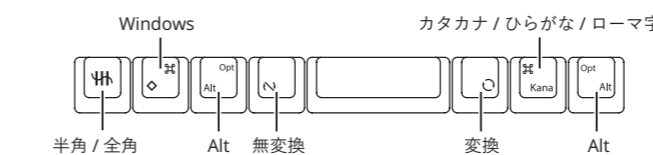
■ キートップ前面の文字を入力するには

Fn + F1 ~ F12, PgUp (Page Up), Caps, 矢印 (カーソル) など、キートップの前面に印刷されている文字のコードは、Fn を押しながら該当キーを押すと入力できます。

■ OSに合わせたキーレイアウトに変更するには

初回接続時は自動的にWindows®用のプロファイル（キーレイアウト）が適用されます。macOS / iOS / iPad OS で使用する場合はプロファイルを切り替えてください（→裏面「キーボードの主な設定変更」を参照）。

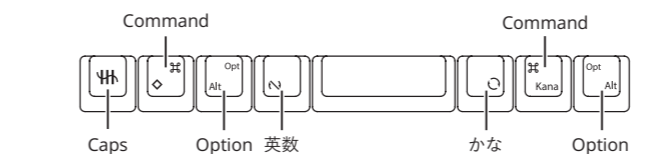
Windows®用プロファイルのデザインキーの割り付け



! Windows®のキーボード設定は「日本語キーボード（106/109キー）」の設定でお使いください。「英語キーボード（101/102キー）」の設定で使用すると、括弧や@などの記号がキートップの刻印どおりに入力できません。以下のFAQをご参照の上、設定の変更を行ってください。

https://faq.pfu.jp/faq/show/2611?site_domain=hhkb

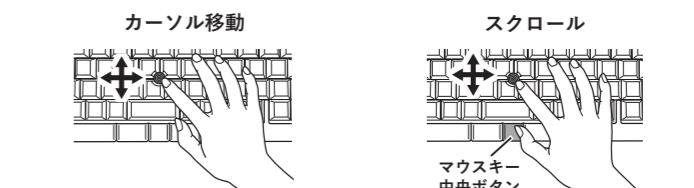
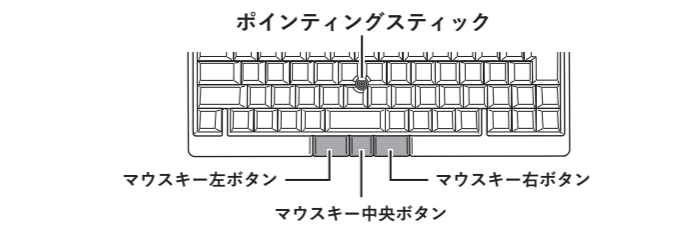
macOS用プロファイルのデザインキーの割り付け



省電力設定について

本製品は、キー操作が30分間ないと自動的に省電力モードに移行し、Bluetooth接続が切断されます。再接続するには Enter を押してください。なお、USB接続時は省電力モードに移行しません。使い方に合わせて、本体底面にあるDIPスイッチで省電力設定を変更できます（→裏面「キーボードの主な設定変更」を参照）。

ポインティングスティック / マウスキーを使う



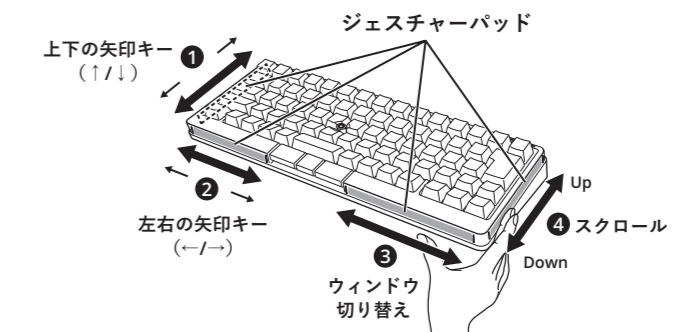
ポインティングスティックを指先で動かします。

マウスキー中央ボタンを押しながら、ポインティングスティックを指先で動かします。

マウスキー左 / 右ボタンは、通常のマウスの左 / 右ボタンとして機能します。マウスキー中央ボタンには [Fn2] キーが割り当てられており、ポインティングスティックやジェスチャーパッドの動作を変更するときにも使用します。詳細は、本製品のユーザーズガイド（Webマニュアル）をご確認ください。

ジェスチャーパッドを使う

ジェスチャーパッドを指でスライドすることで、画面の切り替えやスクロールなどの操作が直感的に行えます。ジェスチャーパッドは本体手前の側面に2つ、左右の側面に1つずつの計4つあり、それぞれ以下の機能が割り当てられています。



・本書を無断で他に転載しないようお願いいたします。
・本書の内容は予告なく変更することがあります。

Microsoft および Windows は、マイクロソフトグループの企業の商標です。macOS および iPadOS は、Apple Inc. の商標です。Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。Android は、Google LLC. の商標または登録商標です。その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

株式会社 PFU
© PFU Limited 2023-2024
P3PX-E021-03

Regulatory Model : PD-ID120

便利な使い方や主な設定変更については、裏面をご覧ください



* P 3 P X - E 0 2 1 - 0 3 *

2024年1月

キーボードをもっと使いこなそう！

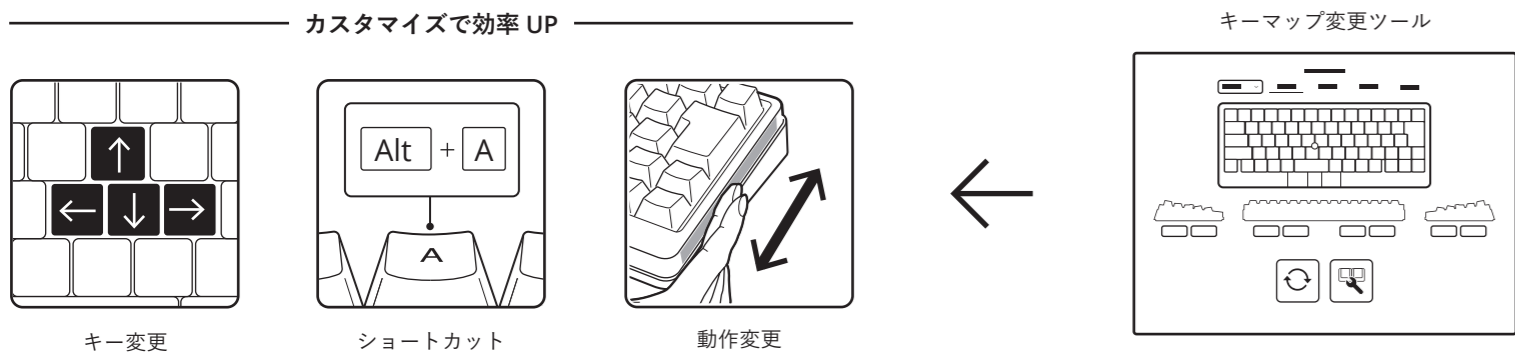
あなただけの理想のキーボードへ

専用ソフトウェアの「キーマップ変更ツール」を使用すれば、キーレイアウトを変更できます。

さらに、よく使うショートカットを登録したり、ジェスチャーパッドの動作を変更することでより効率の良い入力操作を実現できます。

「キーマップ変更ツール」は、HHKB Studio ポータルサイトから無料でご利用いただけます（URL は下部に記載）。

また、お好みのキートップに変更してファッションを楽しんだり、キースイッチを変更することで打鍵感の変化を楽しむこともできます。



作業に合わせてもっと使いやすく

本体のキー操作でポインティングスティックやジェスチャーパッドの動作を制御することができます。

アプリケーションや作業内容に応じて、カーソルやジェスチャーパッドの操作速度を調整することで、より精度の高い入力操作が可能になります。

さらに便利な使い方を知る

本製品の詳しい使い方を知りたいときや、お困りのときは以下の HHKB Studio ポータルサイトをご確認ください。

また、本書の次のページ以降でも、お客様の環境に合わせたキーボードの主な設定変更についてご紹介しています。

HHKB Studio ポータルサイト



HHKB Studio ポータルサイト

検索

<https://happyhackingkb.com/jp/studio/portal/>

- ユーザーズガイド(Webマニュアル)
- キーマップ変更ツール
- 最新情報
- よくあるご質問
- オプション品の購入先
- 各種お問い合わせ窓口

など、HHKB Studio の様々な情報はこちらから参照できます。

キーボードの主な設定変更

ここでは、お客様の環境に合わせたキーボードの主な設定変更についてご紹介します。さらに詳しい機能を知りたいときは、本製品のユーザーズガイド(Web マニュアル)をご確認ください。

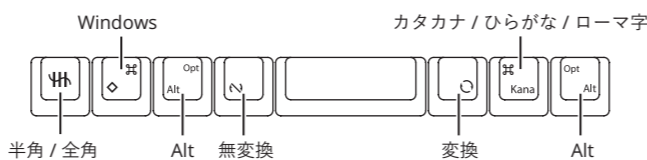
OS やアプリケーション別にキーレイアウトを使い分けたい

入力シーンに合わせてキーレイアウトをカスタマイズしたプロファイルを、本体に4つまで保存できます。プロファイルを切り替えるには、**[Fn] + [C]** を押してから、**[1] ~ [4]** のいずれかの数字キーを押します。

工場出荷時には OS 別のプロファイルが保存されており、初回接続時は自動的に Windows® 用のプロファイルが適用されます。macOS / iOS / iPad OS で使用する場合は、macOS 用のプロファイルに切り替えてください。

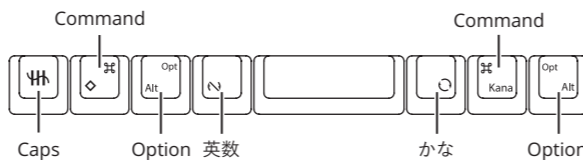
Windows® 用プロファイル

[Fn] + [C] → **[1]** Windows® / Android®



macOS 用プロファイル

[Fn] + [C] → **[2]** macOS / iOS / iPadOS



プロファイルについて

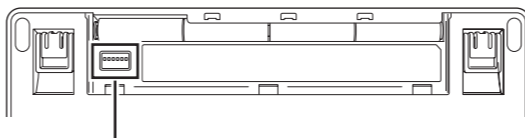
- ・本製品の電源を ON にすると、自動的に前回使用したプロファイルが適用されます。
- ・工場出荷時は **[3]** と **[4]** の数字キーにはプロファイルが保存されていません。
- ・キーレイアウトを自由にカスタマイズしてオリジナルのプロファイルを作成するには、「キーマップ変更ツール」をご利用ください。

入力操作や省電力などの設定を変更したい (DIP スイッチ)

マウスキーやジェスチャーパッド、ポインティングスティックの有効 / 無効の切り替えや画面のスクロール方向、**[BS]** の動作、および省電力設定といったキーボードの一部の設定は、本体の DIP スイッチで簡単に変更ができます。

! DIP スイッチは、必ず電源を OFF にしてから設定してください。

DIP スイッチは、キーボード底面のカバーを外して操作します。先の細いドライバーなどの工具を使用して、スイッチの Up (ON) / Down を切り替えてください。



DIP スイッチ

工場出荷時はすべて "Down" の状態です。

Up(ON)	Down	SW1	SW2	SW3	SW4	SW5	SW6
マウスキー	ジェスチャーパッド	ポインティングスティック	スクロール方向	[BS]	省電力 (*1)		
無効	無効	無効	逆方向 (*2)	Delete	無効		
有効	有効	有効	順方向 (*3)	Back Space	有効		

*1: 本製品は、キー操作が 30 分間ないと自動的に省電力モードに移行し、Bluetooth 接続が切断されます。なお、USB 接続時は省電力モードに移行しません。使い方に合わせて、SW6 で省電力設定を変更できます。

SW6	再接続方法
Up(ON)	-
Down	[Enter] を押す

*2: ポインティングスティックの動きと逆の方向にスクロールします。

*3: ポインティングスティックの動きと同じ方向にスクロールします。

HHKB Professional シリーズからの変更点

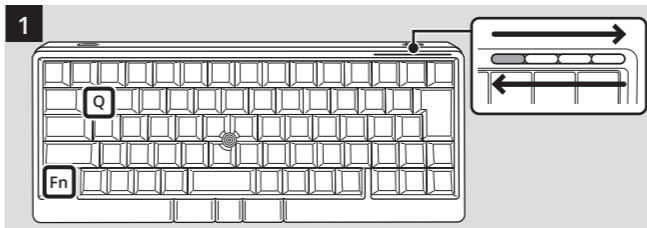
- ・接続機器に合わせて設定モードを変更したい場合は、使用するプロファイルを切り替えてください (→「OS やアプリケーション別にキーレイアウトを使い分けたい」を参照)。
- ・**[BS]** 以外のキーの配列を変更したい場合は、「キーマップ変更ツール」をご利用ください。

複数の接続機器を切り替えて使いたい

本体の **[1] ~ [4]** の数字キーに、最大 4 台の Bluetooth 機器のペアリング情報を登録できます。

ペアリング情報を複数登録しておく、使用する機器をショートカットキーで簡単に切り替えられます。また、Bluetooth 接続から USB 接続への切り替えもできます。

Bluetooth 機器を追加登録 (ペアリング) する

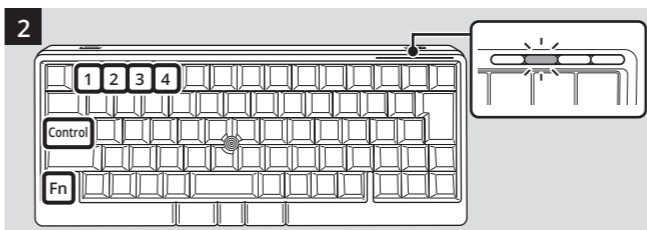


キーボードの電源が入っていることを確認し、**[Fn] + [Q]** を押す

ペアリング待機モードに移行し、LED インジケーターが青色で左右に流れるように点灯します。

ペアリング待機モードを解除したい場合は、**[Fn] + [X]** を押してください。

ペアリング情報がまだ登録されていない場合は、手順 **[2]** の **[Fn] + [Control] + [1]** が自動的に押された状態になり、ペアリングモードに移行します。手順 **[3]** に進んでください。



[Fn] + [Control] + 機器を登録する数字キー (**[1] ~ [4]**) **を押す**

ペアリングモードに移行し、押した数字キーに対応する位置の LED インジケーターが青色に速く点滅します。

上図は、**[Fn] + [Control] + [2]** を押した場合の LED インジケーターの例です。

なお、ペアリング情報がすでに登録されている数字キーを指定した場合、ペアリング情報が上書きされ、古いペアリング情報が削除されます。

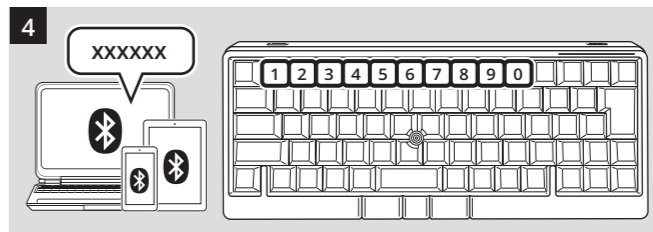
キーボードを接続する機器の Bluetooth 設定を有効にし、表示された接続名の「HHKB-Studio<n>」を選択する

<n> にはペアリング情報が登録されるキーの数字 (1 ~ 4) が表示されません。例えば、手順 **[2]** で **[Fn] + [Control] + [2]** を押した場合は、「HHKB-Studio2」と表示されます。



OS ごとの詳細手順はこちら

https://happyhackingkb.com/manual/studio/ug-jis/jp/ug/topic/connect_bluetooth.html



画面に表示されたペアリング用の数字を本製品で入力する

「HHKB-Studio<n>」が「接続済み」となり、接続が完了します。このとき、LED インジケーターは消灯します。



macOS で「キーボード設定アシスタント」画面が表示された場合は、「続ける」ボタンをクリックして、表示される画面の指示に従って操作してください。

- ・「右 Shift キーの左隣のキーを押してください」というメッセージが表示されたら、**[1]** ではなく、右 **[Shift]** の 2 つ左隣にある **[]** を押してください。
- ・「キーボードの種類を選択」が表示されたら、「JIS 日本語」を選択してください。

以上で接続は完了です。

2 回目以降は、本製品の電源を ON にするだけで自動的に再接続されます。

機器の接続を切り替える

本製品の電源を ON にすると、自動的に前回接続していた機器と接続されます。接続機器を手動で切り替えるには、ショートカットキーを使用します。

Bluetooth 接続する機器を切り替える場合

[Fn] + [Control] + [1] ~ [4] のいずれかの数字キーを押すと、押した数字キーにペアリング情報が登録されている機器と Bluetooth で接続されます。

USB 接続から Bluetooth 接続に切り替える場合も同様です。USB ケーブルを外して使用する場合は、本体に電池を入れてください。なお、USB ケーブルで給電したまま Bluetooth 接続に切り替えることもできます。

USB 接続に切り替える場合

USB ケーブルを接続してから **[Fn] + [Control] + [0]** を押すと、USB 接続に切り替わります。USB ケーブルを接続するだけでは切り替わりません。

最小の動きで、無限大の創造を

HHKB Studio へようこそ

HHKB Studio